

| | | | | | | | |
|--|---|--|-----------|------|-------------------|---------------------------------|-----|
| 科目コード | R24223 | 科目名 | 運動器系理学療法学 | | | | |
| 履修区分 | 必修 | 開講期 | 2年後期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 上川 紀道 | | | | | | |
| 授業の概要 | 様々な運動器疾患の特徴や症状、評価、治療について講義する。そのために、運動器疾患の発生機序とその症状、原因を理解すること、根拠に基づいた評価方法を理解すること、各疾患の治療方法（保存療法、手術療法）、さらにリハビリテーションを進めていく上でのリスク管理を考慮したプログラムを理解することが目標となる。なお、近年においては障害の発生に対するリハビリテーションのみならず、障害を予防する観点についても知識を身につけることが必要である。そのためにも、障害がなぜ発生したのか、日常生活をどのように送られているのかなど、より対象者に近い立場で障害について考える力が必要である。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている | | | | | | |
| | 生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている | | | | | | |
| | 地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている | | | | | | |
| 2025年度以降の学則適用用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 | | | | | | | |
| DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力 | | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動器とは何かを説明することができる。 ・運動器疾患の発生機序について説明することができる。 ・運動器疾患の症状について説明することができる。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料は事前にCラーニング上にアップするので、必ず自身で印刷またはダウンロードしたデータを持参すること（タブレット・PC持込可）。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | | 事前・事後学修 | |
| | 1 | 運動器疾患を理解するために必要な基礎知識 ・運動器とは何か：筋、骨 | | | | 解剖学（筋・骨）について復習しておく。（60分） | |
| | 2 | 運動器疾患を理解するために必要な基礎知識 ・運動器とは何か：腱・関節・関節包・靭帯 | | | | 解剖学（関節・靭帯）について復習しておく。（60分） | |
| | 3 | 運動器疾患を理解するために必要な基礎知識 ・Joint by Joint theoryについて | | | | 今までの講義について復習しておく。（60分） | |
| | 4 | 運動器疾患を理解するために必要な基礎知識 ・メカニカルストレスについて | | | | 今までの講義について復習しておく。（60分） | |
| | 5 | 大腿骨頸部骨折の特徴や症状について ・講義資料を見ながら図で理解してイメージをつける | | | | 大腿骨頸部骨折について復習しておく。（60分） | |
| | 6 | 大腿骨頸部骨折の特徴や症状について ・テキストを見ながら文章を理解して表現能力をつける | | | | 大腿骨頸部骨折について復習しておく。（60分） | |
| | 7 | 変形性股関節症の特徴や症状について ・講義資料を見ながら図で理解してイメージをつける | | | | 変形性股関節症について復習しておく。（60分） | |
| | 8 | 変形性股関節症の特徴や症状について ・テキストを見ながら文章を理解して表現能力をつける | | | | 変形性股関節症について復習しておく。（60分） | |
| | 9 | 変形性膝関節症の特徴や症状について ・講義資料を見ながら図で理解してイメージをつける | | | | 変形性膝関節症について復習しておく。（60分） | |
| | 10 | 変形性膝関節症の特徴や症状について ・テキストを見ながら文章を理解して表現能力をつける | | | | 変形性膝関節症について復習しておく。（60分） | |
| | 11 | THAとTKAについて ・講義資料を見ながら術式や脱臼部位について図で理解してイメージをつける | | | | 股関節、膝関節の解剖学・運動学について復習しておく。（60分） | |
| | 12 | THAとTKAについて ・テキストを見ながら術式や脱臼部位について図で理解してイメージをつける | | | | 股関節、膝関節の解剖学・運動学について復習しておく。（60分） | |
| | 13 | 腰部疾患の特徴や症状について ・講義資料を見ながら図で理解してイメージをつける | | | | 腰部疾患について復習しておく。（60分） | |
| | 14 | 腰部疾患の特徴や症状について ・講義資料を見ながら図で理解してイメージをつける | | | | 腰部疾患について復習しておく。（60分） | |
| | 15 | 腰部疾患の特徴や症状について ・テキストを見ながら文章を理解して表現能力をつける | | | | 腰部疾患について復習しておく。（60分） | |
| 成績評価方法 | 期末試験（100%） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者（出版社） | | | | | ISBNコード | |
| | 運動器障害理学療法学 ・石川 朗（中山書店） | | | | | 978-4-521-74494-0 | |
| 運動器障害理学療法学 ・石川 朗（中山書店） | | | | | 978-4-521-74495-7 | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 教員からのメッセージ | 解剖学・運動学・生理学・整形外科学総論の復習を随時行うようにしてください。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | 講義最後にGoogle formで質問する機会を必ず設けます。 | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | 理学療法士として整形外科のクリニックで様々な運動器疾患の患者様に対してリハビリテーションを実施してきた教員が担当します。当該授業を通して理学療法士が実際にどのような考え方で患者様に接し、どのような評価や治療を実施していくのかを共に考え議論することで、どんな疾患や患者様に対しても対応できる力を身に付けることを目指す講義です。 | | | | | | |